

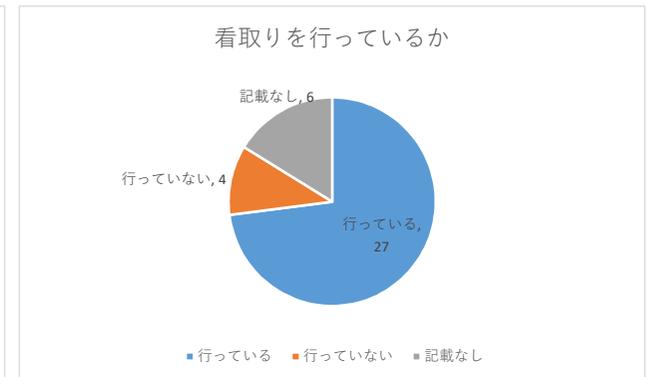
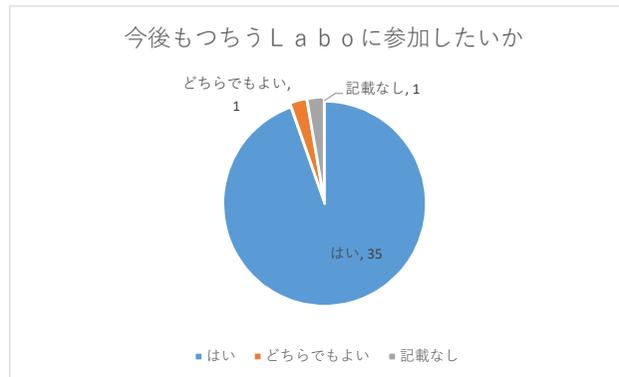
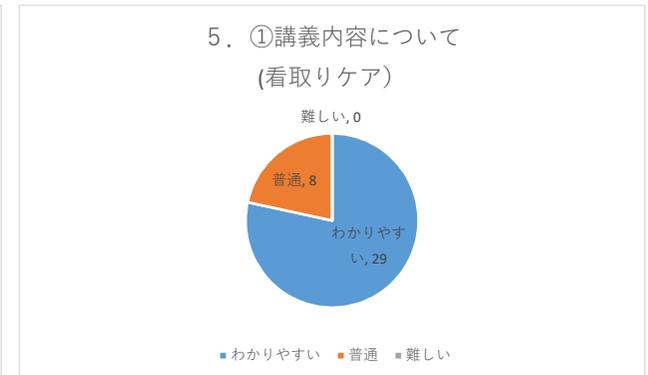
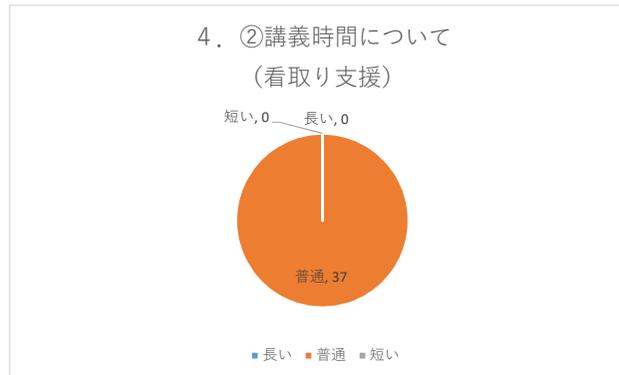
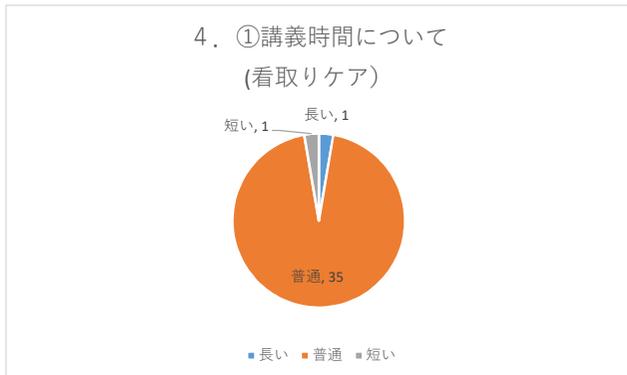
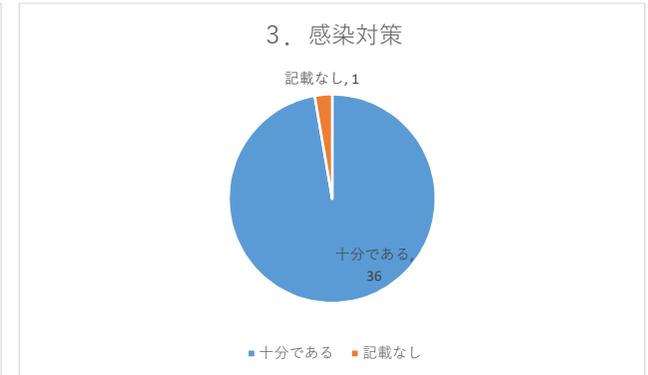
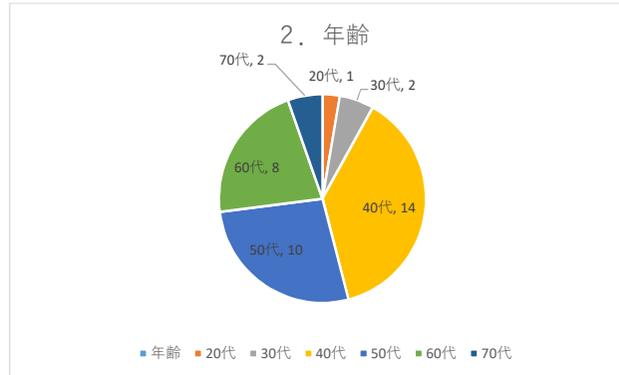
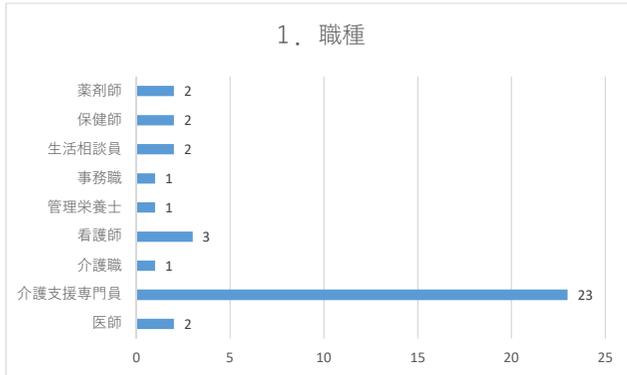
令和3年度第1回在宅医療介護連携@つちうL a b o 参加者アンケートの結果

日時：令和3年6月17日（木） 18時30分～20時

出席者：39名

場所：土浦市消防本部 3階 講堂

アンケート回答数：37名（回答率：94.9%）



【本日の内容で利用者（市民）に勧めてみたいと思った内容・資料はありましたか？】

看取り具体例

がん相談室

パフォーマンスステータスを使用し治療継続の評価を使用してみたい

看取りの事例はとてもイメージしやすいものでした

ケアマネの講義内容すべてを小さな単位（公民館等ですすめる）と良い。訪問看護

患者さんに意思決定できることの大切さ

事例

がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法看護相談のご案内

ACP、がん化学療法看護相談

在宅看取りについて、ACP

【感染症流行下における多職種連携について、難しさを感じていることや、乗り越えるために工夫していることは何か。】

顔を合わせる機会が少ない

担当者会議を開くことができず困っている

会議に参加できない

会議がしづらい

包括支援センターへ相談することが多くなったと思います。同事業所のケアマネで情報共有しながら、多職種連携につなげている

3密を避ける。手指消毒。日常生活や職場で実施し、うつらない、うつさない。

予防注射、体調管理、運動

必要最低限の集まりとなっており、書面でのやりとりが増えている。書面ではくみ取れないことも多い。オンラインが普及しつつあるものの、現場では活用できていない。

ICTの活用

TELや書面での連携

必要に応じて集まれるよう初回時など事務所以外の場所の活用（病院）

ご家族との連携（子供たちが遠方）、電話とテレビ電話利用、利用票等eメール

担当者会議の実施に困難さがある。Zoomの利用など

一同に会しての担当者会議が実施できないため、情報共有がきちんとできるよう、密に連絡をし（電話・FAX）行っている。

【今後、どのようなテーマの研修会や意見交換会を行ってみたいか。】

認知症、家族負担

連携について

認知機能の低下した独居の方やご夫婦の方への在宅ケアの関りについて

ハラスメントについての研修

土浦市の防災、水害対策等

精神疾患患者への在宅支援

BCP

虐待ケースの対応、支援

【在宅ケア連携手帳（在宅版）の手帳の名称について、良い案があるか。】

いいキャッチがあれば、変えられるといいですがすぐかびません。「本人のノート」という意味のキャッチがあるといいかも。「ささえあい手帳」「私の助っ人手帳」みたいなイメージか。

在宅医の話（連携について）をうかがいたい

良い案はないですが、在宅ケア連携手帳が大変良くて、周辺の自治体の利用者様にも使っています。

あまり使っていない

このままでよいです

【看取りを行っている方：達成感や良かったと思う点、または課題は何か。】

家族より、良かった・・・と言っていただけることが励み。コロナで在宅看取りが増えました。

病院より在宅へ戻られえる時には、退院支援看護師とMSWの力量が問われます。個々の病院により力量はさまざまです。レベルの高い県南地域になると良いです。

本人や家族が在宅看取りを希望しても、最後は入院となったケースが半分位あり、ケアマネとして後悔してしまう時があった。

ご家族が最後にとても満足していた。支援してよかったと思えた。

特に訪問診療、訪問看護の方々に支えられ、本人家族が望む日々を送れ大変喜ばれている。

ご本人、心穏やかに過ごされ予後より長く自宅で過ごすことができた。ご家族は、一緒にすごす等で死別を受け入れることができた。ご本人が会いたいと思っている人と会うことができた。

【看取りを行っていない方：理由】

看取りの件数が少ない

本人・家族の希望はある。まだそこまでいっていない。

希望者がいない

通所介護事業所のため